

## 2007年度連結決算、営業利益が57%増に

横浜ゴム（株）（社長：南雲忠信）の2007年度（2007年4月1日から2008年3月31日）の連結決算は、売上高が前期比10.9%増の5,514億円、営業利益が同57.2%増の331億円となり大幅な増益となった。タイヤ、MBともに売り上げを伸ばしたが、特にタイヤの海外販売が拡大。原材料価格の高騰や流通コストを中心とする販管費の増加を吸収した。為替レートが円安に推移したことも増益に寄与している。

経常利益は前期比25.3%増の252億円。期末に向けて進行した円高により、外貨建債権の回収・換算差損を計上したため増益幅が縮小した。当期純利益は同28.7%増の211億円。投資有価証券評価損が発生したが、経常利益の増加に加え、北米子会社の収益改善などに伴う税効果があり増益となった。当期末の配当については、期末配当を一株当たり7円とし、中間配当6円と合わせて年13円とする予定。年間では前年度に比べ一株当たり1円の増配となる。

大幅な増益を牽引したのはタイヤ事業で、売上高が前期比12.6%増の4,198億円、営業利益は同77.6%増の260億円だった。アジアの生産拠点の増産が進み海外販売が大幅に伸びたうえ、北米やアジアの子会社の収益改善が順調に進んだ。

MB事業は売上高が前期比5.5%増の1,316億円、営業利益が同3.6%増の70億円となった。建設機械用高圧ホース、コンベヤベルト、防舷材などの資源開発関連商品を中心に売り上げを伸ばした。

2008年度通期の見通しは、原材料価格のさらなる上昇と為替の円高傾向が懸念されることから、売上高は前期比2.5%増の5,650億円、営業利益は同21.5%減の260億円、経常利益は同10.6%減の225億円、当期純利益は同38.3%減の130億円を見込む。

このリリースに関するお問い合わせ先  
横浜ゴム（株）広報部 担当：木下 石塚  
TEL：03-5400-4531 FAX：03-5400-4570

## 決算ハイライト

(百万円)

	2007 年度	2006 年度	2005 年度
売上高	551,431	497,396	451,911
営業利益	33,118	21,069	21,947
経常利益	25,164	20,084	19,015
税金等調整前当期純利益	20,478	26,038	22,673
当期純利益	21,060	16,363	21,447
減価償却費	27,238	22,165	20,491
設備投資額	27,292	40,638	29,067
総資産	526,191	536,322	502,014
純資産	181,538	186,528	170,675
有利子負債	165,614	167,473	163,021
営業活動によるキャッシュフロー	41,648	36,738	31,860
投資活動によるキャッシュフロー	(33,734)	(35,122)	(29,184)
財務活動によるキャッシュフロー	(4,008)	(1,007)	(3,113)
現金及び現金同等物の期末残高	19,530	14,812	14,289
一株当たり:			
当期純利益(円)	62.81	48.79	62.75
配当金	13.00	12.00	10.00

(注)2005年度の「純資産」の欄には、従来の「株主資本」を記載している。

## セグメント別

(百万円)

	2007 年度	2006 年度	2005 年度
事業別:			
売上高			
タイヤ	419,834	372,708	335,734
MB	131,596	124,687	116,177
営業利益			
タイヤ	26,049	14,670	18,109
MB	7,044	6,797	3,941
消去	24	(397)	(102)
所在地別:			
売上高			
日本	387,217	369,740	348,666
北米	111,995	98,136	82,186
アジア	22,992	13,897	8,807
その他	29,226	15,621	12,252
営業利益			
日本	22,900	17,469	19,622
北米	6,713	3,804	2,561
アジア	2,793	122	(134)
その他	1,047	393	375
消去	(335)	(721)	(478)

(注)所在地別の北米は米国及びカナダ。アジアはフィリピン、タイ、中国、台湾。その他は欧州、大洋州。